

しがま市議会だより

平成24年 議会報告会 第1号

- 塩竈市議会基本条例、震災への対応 P1
- 施政方針・予算概要と各委員会報告 P2
- 質疑応答とアンケート結果 P3
- スタッフ紹介と編集後記 P4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 TEL 022(364)1214 Aug.2012
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>



第1回塩竈市議会報告会・ 塩竈エスプ100人参加

議会は、5月13日に塩竈市議会基本条例に基づき第1回議会報告会を行い、東日本大震災と議会の対応などについて報告し、当日約100人が参加しました。

市議会議長からの挨拶の後、東日本大震災の市議会の対応、予算特別委員会委員長報告、総務教育常任委員会・民生常任委員会・産業建設常任委員会の3常任委員会から報告を行いました。

参加した市民の皆さんから多くの質問が出され、議会から回答しました。

塩竈市議会基本条例と 第1回議会報告会について

嶺岸淳一議長から議会報告会に至る経過が報告されました。

【要旨】

平成21年12月議会に、塩竈市議会の基本理念と活動についての条例制定のため『塩竈市議会基本条例策定特別委員会』が設置され、14回の委員会を開催。

塩竈市議会の市民アンケートも行った「市民に分かりやすく開かれた議会」をめざし、前文と25条から成る『塩竈市議会基本条例』を平成22年12月7日に制定しました。

議会基本条例第5条の規定により今回の「議会報告会」を開催致しました。

東日本大震災の 市議会の対応について

塩竈市議会の「東日本大震災以降の市議会の対応」について、鈴木昭一副議長から報告されました。

【報告概要】

3月11日以後、塩竈市議会は議員全員で各避難所、被災者の対応にあたった後、3月21日の塩竈市議会全員協議会で市当局から被災報告を受けました。

全員協議会、幹事長会議を経て4月28日「東日本大震災塩竈復興対策調査特別委員会」を設置。

同特別委員会を11回開催し、各議員が活発に復旧・復興について質疑・要望を行いました。7月29日、臨時議会が開かれ、東日本大震災特別委員長報告が行われました。

8月5日に委員長報告の復旧・復興対策について各党派と意見調整し、特別委員会正副委員長で取りまとめ、佐藤昭市長に34項目にわたる「東日本大震災の災害復旧対策提言書」を提出しました。

なお、塩竈市議会は宮城県議会議長・知事、衆議院議長、内閣府副大臣、東日本大震災復興対策大臣に復旧・

復興等の要望書を提出しました。

東日本大震災の復興対策

に関する提言書

- 被災者生活支援
- 住宅再建等
- 災害廃棄物処理
- 保健・医療・福祉
- 水産業・水産加工業
- 浅海養殖漁業の復旧
- 商工業 ○観光 ○雇用
- 公共土木施設 ○安全・安心
- 防災 ○被災体験の継承
- 財政の運営 ○教育
- 震災復興計画の進化管理



平成24年度の施政方針と予算の概要、各常任委員会の主な事業の内容を、各委員会の委員長ないしは副委員長が報告者となって説明を行いました。

平成24年度施政方針と 予算の概要

【報告者】 阿部かほる議員

『施政方針』『定住』『交流』『連携』の3つの重点戦略を柱とする

「第5次長期総合計画」と「塩竈市災害復興計画」を両輪とするまちづくり。

主な事業

- 『定住』 ・定住人口戦略プラン
- ・災害公営住宅 他
- 『交流』 ・仮設店舗自立支援
- ・浅海漁業支援
- ・観光客誘致
- 『連携』 ・障害者自立支援
- ・集会所への発電機配備

【平成24年度予算概要】

一般会計280億1000万円
(震災復旧予算89億7759万円)

特徴

歳入において自主財源が震災の影響で前年度に比べ激減しているが、国、県等からの歳入が震災復旧関連予算として、前年度より約68億円強の110億3372万円に上った。

歳出においては、総務費として全国からの災害派遣職員関係費等、新規計上により前年度より約3億円増加し、20億5772万円である。

その他、歳出のほとんどが災害廃棄物処理費用約96億円をはじめ、住宅防災支援事業費、被災道路復旧費等の災害関連予算が大きく予算を占めている。

総務教育常任委員会 からの報告

【報告者】 志賀勝利議員

【市税の減収について】

『東日本大震災』の影響で前年より18・3%、金額で10億6793万円の減で市税の予算額は47億7740万円となる。他方、今年度の起債額は、27億7680万円を見込んでおり、返済額は25億599万円。

【教育について】

各小中学校の耐震改修工事は災害前に終了済だが、各学校の老朽化は否めない、今後非構造物の補修が急がれる。

子供達の学習習慣の動機付けを図るべきである。

民生常任委員会からの報告

【報告者】 曽我ミヨ議員

【震災対策について】

『仮設住宅地域支え合い体制作り事業』（4372万円）

仮設住宅の住民相談と見守りを社会福祉協議会に委託。あわせて借り上げ住宅生活相談活動。

【子育て支援について】

保育所待機児童ゼロ作戦として、臨時保育士を増加。

【国民健康保険事業について】

平成24年度の国保税は税率3・88%（平均7293円）引き下げになる。

【介護保険事業について】

新たに平成24年度に市内および利府町に介護施設を建設。紙おむつの支給対象は要介護3からと改定。

【介護保険料の改定について】

【塩竈市立病院について】
平成24年度決算見込みにおいて、最終目標であった単年度黒字は約3600万円の黒字が見込まれると報告。

産業建設常任委員会 からの報告

【報告者】 香取嗣雄議員

【雇用対策事業について】

震災により、職を失った被災者を対象に雇用の安定を図る事業。

26事業 167人 2億9000万円。

女性、高齢者、障害者等全員参加

型雇用事業として、4事業 9人
2300万円。

【下水道事業特別会計について】

東日本大震災により被災した下水道施設災害復旧工事費約52億円により、被災ポンプ場に加え幹線及び枝線総延長7・6キロメートルは、平成24年度に発注予定。

市内各雨水ポンプ場は全て稼働している。汚水ポンプ場も7月末まで復旧完了予定。

各報告後の主な質疑応答

Q 若い人達は、塩竈市に働く所が無いと言っています。市議会議員の方にも、塩竈市に新規の事業所の誘致をお願いします。

A 水産業関連で雇用を見込める動きになっています。

Q 仙台市で六魂祭が開催され、今年、盛岡市でも行われます。塩竈も他から来てもらえるよう観光の方にも力を入れていただきたい。

A 宮城県のDESTINEーションキヤンペーンに市も力を入れ、何とか観光の面でも内外の方を寄せようという努力をしているところです。また、塩竈市が初めて観光特

区を国に申請し、許可されました。これはマリンゲートから本塩釜周辺、本町までかかる観光推進特区という特別区域を設けていただいたものです。

Q 税金の未納額が毎年億単位であるという報告がございました。どのように税金の未納額が大きければ当然市の財政が苦しくなってくるのは当たり前でございます。こういうことについて議会としてはどういふ対策をとるのか。

A 税務課の方で一応いろいろ努力はしています。今年度からコンビニにおいても納付出来るシステムにしています。今後当局と議会とで、真剣に議論しながら、方法論について検討していきたいと考えております。

なお、現在は県に一本化しており、未納者に対しては県の方で強制執行されるようになり、収納率が少しずつではありますすが上がってきております。

Q 新浜町背後地で水産業を営んでおります。同地

区に津波は来なかったものの、地震で地盤が沈下したため、工場は解体し更地となりました。水揚げあつての水産加工業ですので、水産業への対応が望まれます。国に陳情したが返事がありません。国への要望をお願いいたします。

A 市議会にはその意見は上がっておりますませんが、今後市当局と一丸となって一生懸命頑張っていきたいと思います。



報告会の様子

Q 集会所に配備される発電機等の整備は、各集会所を指定避難所なみの対応を求めていることか。

A 市は、集会所に対して指定避難所としての対応を求めているのではなく、自主防災組織の推進を行っている市としては、住民の方が安心して集会所に避難できる体制を整備しました。「後日、防災担当で確認した内容」

参加者からのアンケート結果

【内容について】

- ・よく分かった 11人 (20・8%)
- ・普通 35人 (66・0%)
- ・分かりにくい 5人 (9・4%)
- ・不明 2人 (3・8%)

【時間配分について】

- ・適切だった 40人 (75・5%)
- ・長かった 5人 (9・4%)
- ・短かった 3人 (5・7%)
- ・なし 5人 (9・4%)

【参加者の主なご意見】

- ・震災により商業界のダメージが大きい、行政の担当を。
- ・本会議の採決で「賛成」「反対」の理由や議論になったことも伝える

て欲しい。

- ・議会報告は、その場の資料では理解困難。質疑はよく分かった。
- ・当局が発表する事務的なものは割愛してもらいたい。
- ・議会として、市の事業計画の推移、効果、意見、改善意図を延べていただきたい。
- ・参加者が少数で残念。
- ・『議会だより』をA3サイズからA4サイズへ改善して欲しい。
- ・生活保護費について問題がある。保護費の支給について再チェックをするようお願いしたい。
- ・5億円の未納(市税)があるとは、初めて知り大変驚いた。
- ・大変有意義な会でした。今後、市民一丸となって活動していけるよう頑張ります。
- ・初めての報告会良かったです。これから定期的に開催して下さい。
- ・第一回の報告会には良かったです。それぞれの担当議員がよく勉強しており要領良くまとめて報告していたのが良かった。もっと市民の参加を図るべき。
- ・「広報」「議会だより」を読んでいるが、このような報告会でより理解を深めることができ良かった。直接意見を伝えることができ、大変結構です。
- ・報告の回数を重ねれば、内容ももっと充実してくると思います。議員個人におかれましてもレベルアップしてくると思う。
- ・当市のスポーツ施設は貧弱で他市町村と差があり最低である。清水沢スポーツ公園を改善しバックネット裏に段を設けることと伊保石公園の設備も考えてもらいたい。
- ・障害者プランが新たになるということで、親身になってもらう少し考えて下さい。歩道の段差、夜道の暗さ。
- ・市議会の考え方が楽天的過ぎる。他の港に遅れをとることが心配だ。
- ・プロジェクトに表された資料、数字は印刷して配布してもらえば良かった。

議会報告会終了後



登壇者以外の担当議員

【受付】

伊藤栄一、小野絹子、菊地進

【場内整理】

小野幸男、田中徳寿、志子田吉晃

【記録】

佐藤英治、西村勝男、高橋卓也

【司会】

浅野敏江、伊勢由典

【プロジェクト&パワーポイント】

鎌田礼二

編集後記

「議会報告会」に多くの皆様にご参加いただき、大変ありがとございました。

一つでも多くのご意見を紙面の許す限り掲載させていただこうと努力致しました。

今後とも開かれた議会を目指して参りますので宜しくお願い致します。

議会報編集委員会

委員長 浅野敏江

副委員長 伊勢由典

委員 阿部かほる

委員 鎌田礼二